

京都教区時報

第104号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨
編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

教会活動を通して 青年たちは

歩き出そう！ 未来を作るのは、^き^み青年たち



左端が下平美砂さん

青少年は次の時代を担います。そして、次の新しい教会を作ってゆきます。青年の持つ新鮮でエネルギーが今の教会で生かされているか。世界に福音を告げ知らせるための力は育てられているか。青年は今、何をなすべきか：様々な問題を掲げられ始まった国際青年年も、今年あと残り2ヶ月です。

あなたの周囲では青少年は生き生きしてますか？ 今年、世代を越えて、活気ある教会づくりに取り組むことができたでしょうか？ 青少年自身は、キリスト者として明日を見つめる確かな自覚が持てたでしょうか？

青年年は出発の年です。未来の教会を活力あるものにするかどうかは、確実に今の青年にかかっているのです。

歩み出した私たち

下平 美砂

昨年エンカウンターなどの活動を通して、各地の大きい青年と出会うお恵みを頂いた。その中でも京都北部の青年との出会いは素晴らしいものであった。

彼らは、何においても積極的で、又何よりも全く一致された共同体であった。私もイエス様を共にほめたたえられるような仲間が欲しいと、とてもうらやましく思った。けれど津の青年会は約七年前にとだえていた。

現在、津には60名の青年が在籍しているが、その大半は職場や学校の関係で外へ出ている。出入りが激しいというのが青年会がとだえた原因のようにも思われ、主任神父に相談した所、青年会は無理ではないかという答えが返って来た。

我々青年は教会の中で、又外において何をなすべきかと考える時、これからの教会を担う我々青年がバラバラではいけない！再結成の必要性を強く感じ、8月16日・17日、「第一回青年の集い」を開いた。今青年会は10名ほどの小さな共同体であるが神の道具になれればと共に祈り合って歩み出した。

(津教会)

'85司祭研修会

8月20～23日

於 奈良パークホテル



研修会のあゆみ '81～'84

第1回 '81 8月25日～28日

① 教皇メッセージ「平和について」

② 司祭・修道者のかかえる問題

③ 教区ビジョン作り

第2回 '82 8月24日～27日

種々の問題

特に適正配置の問題（司祭の側から）

第3回 '83 8月23日～26日

① 信徒使徒職について

② 適正配置について（特に場所の側から）

③ 基礎共同体作りへの模索

第4回 '84 8月21日～24日

京都北部の信徒の意見より

① 冠婚葬祭 …… 祖先崇拜

② 説教の問題

③ 信徒使徒職の養成について

④ 適正配置

⑤ 司牧評の設立



このような事を特に頭において、ミサの典礼を見直してみようと言う点からとても有意義な講演を聞いた。

① 典礼は共同体全体の行いである。ミサは司祭が捧げると言うよりも共同体が捧げるものである。
② 典礼が形式化しないためには、日常生活と一致した生きた典礼となるようにする。

司教の足どり

8月

- 1日 神学生（柳本・北村）来訪
- 2日 草津カトリック幼稚園の歴代父兄会長ら（信者）来訪
- 4日（日）桃山ミサ（ラッキー師歓迎、村上ト師、ルカ師送別）
- 5日 JOC全国担当大沢師と夕食
広島平和巡礼（京都教区中学生50名・日本司教団・米国司教団代表も出席、平和ミサと行進）
- 6日 原爆40周年、式典・碑めぐり、長谷川師講演、精霊流し
- 7日 広島より帰洛
- 8日 司祭評常任委
- 10日 三重県侍者合宿終了ミサ
- 11日 教区内一斉平和ミサ 平和講演（東海林師）、平和行進
- 12日 ローマから来客、ル大事故
- 13日 MM神学生来訪
- 15日 聖母被昇天大祝日
- 16日 大文字送り火
- 20～23日 教区内司祭・修道者研修会（奈良）
- 24～9月10日 ローマ訪問アド・リミナへの旅



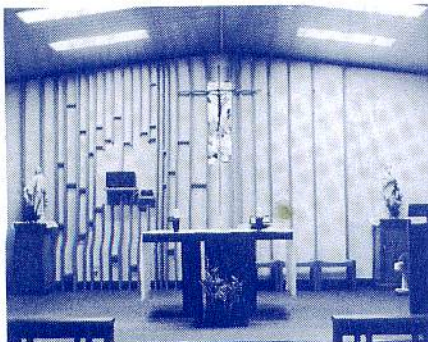
とくが顔



— 諸聖人の通功についてお話ししていただけますか。

「宇治教会には、祭壇の後に26聖人をまつた26本の柱があるんですよ。（写真を見ながら）」

京都では他に、六条河原の殉教や、その後も殉教はありますが、こうして死んでいった祖先を大事にしたいですね。私達は、今、生きている人のことだけ考えるのではなくて、亡くなった人達の祈りや、いろいろな人達の祈りから恵みをいただき、また、神のたごころの中で生きているということ、を忘れないで生活したいですね。」



祭壇奥26本の柱（宇治教会）

85平和への歩み 8月11日(日)の集い
京都地区講演要旨「連帯に生きる」

反核を叫ぶときは今

講師 東海林 勤氏
(日本キリスト教団牧師)

戦後40年、世論調査で国民の79%が今の生活に満足だという。果して私たちは私的幸福に満足していられるのでしょうか？平和な祭りの中にも確実に軍歌が、軍人のクツ音が聞こえてくるように思うのです。今度は一瞬にして広島何百倍もの想像を絶する事が起こるのです。

戦争の悲惨さを体験した後、日本は米国からの軍備増強の要求を解釈を一部変えながら、平和憲法で切りぬけ、その分を経済発展に向けてきました。しかし、レーガン政権は米国の戦力の一部として日本の軍事力強化を要求し、経済競争を牽制しようとしています。憲法の解釈を一部変えるだけでは米国につき合うことができなくなつたのがここ数年の事態です。自民党も、軍需産業に入っている日本企業の大きな力の期待に答えるため、改憲論者であった中曽根首相が選ばれたのです。

軍事力は世界で第八位、日本は決して軍事小国ではありません。世界のGNP(総生産)の約1割

を占める日本の経済力。そのすごい国家予算のうち教育や福祉事業を抑えて軍事費を7、8%増し、ここ7、8年で倍にもなりました。つじつま合わせの軍事費1%枠もどうしても越えざるを得ない。戦後政治の総決算の柱と1%枠徹底を首相は決定した。日本は軍事大國路線をとろうとしているのです。そうなると平和憲法では都合が悪い。

官僚の靖国神社公式参拝も靖国国営化法案への準備です。政教分離、信教の自由という憲法が保障しているものを明らかに侵害しています。——中略——

日本の自衛隊は今や米国の核戦

三重地区講演要旨

「平和を考えよう」

講師 行宗 一氏
(正義と平和協議会会員)

現代は世界が近くどこで戦争があつても影響があり、まさに今、米ソが対立して後進国に武器を供与して戦わせている。核兵器は突然の攻撃を前提に、軍事衛星、情報系

略の一部にがっちり組み込まれていきます。非核三原則も守られていない。今や、核戦争に参加し、核攻撃の対象になっていっているのです。なぜ危険な米国に組み込まれてゆくのか？それは政治の権力者が権益を一人占めしたいのです。この事態を変えなければ、核が我々を亡ぼすのです。

もう手遅れか？いや、手遅れではない。この流れを変えるため、国民が動かかねばならない。ようやく多くの国民が危機を感じるようになってきました。世論では72%の人が防衛費の縮小を望んでいる。平和の運動、反核の運動も分散しているが浸透してきた。反核の願いは世界中の動きと繋がっている。私たちの平和を願う小さな声でも、戦争や核で死んでいかななくてはならなかった人、平和のために働く世界中の人、そして、軍備増

統と人類絶滅装置体系をなしている。真の平和は武器による直接暴力をなくし、構造的暴力たる人権差別、抑圧、貧困などの課題を解決せねばならない。絶対平和である主の平和を知るかトリック者の使命は重大で、すべてを主の平和に近づけるように努力しなければならぬ。(森田)

強の影で困窮しているすべての人の連帯を意識することにより、大きな平和の輪を作ることができるとです。
苦しみを訴えている人の顔を中心に刻み、キリストが愛を向けられたすべての人に何ができるか、私たちは信仰に立ち返り、行動が祈りとなるよう、これからもやっていきたいと思えます。

平和を考える集いを

あなたの小教区でも！！

85年平和の歩みのテーマを、教理センターで貸し出ししております。身近な所から、できる事から、平和の輪を広げてゆきましょう。

問い合わせ 三条オフィス
(211)3768

あなたの良き隣人として

カトリック御葬儀
貨物一式(仏式可)

聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
☎ (075)312-7829

基本方針とわたし

古くて新しいもの

『日々新』

Sr景山ひろ子

「基本方針」は私の人生の貴重な節目を深く呼び起こしました。終戦後当時としては珍しい洗礼・聖体・堅信を一緒に受けるお恵みをいただきました。「今からはキリストの兵士として福音宣教に殉教も恐れず、全てを捧げられる力を神はくださっているのだ」と強く心に銘記しました。後に修道生活の招きに応えた私の一つの理由は、「自分の家族にとらわれずキリス

トの兄弟姉妹に、より広く仕えられる」という事でした。しかし実践となると、ただ時に流され、猛反省をしています。昨秋「シスタ」、基本方針は、神父さんに頼らず私達の手でコピーして早く信徒皆で勉強しませんか。地区集会等使って」と教会の長老格の方が促されました。数十年前に心に銘記された指針を今こそ掘り起こし、司祭・修道者・信徒の連帯の中で足下から日々新たな気持ちで実践するよう努めています。

(奈良教会)

見て下さり!

私達の回りを

瀧野正三郎

現在、私は滋賀働く人の家において、青年労働者とかかわる仕事をしています。

青年達のほとんどは、九州や四国の出身です。以前からくらべると中卒の人は減ってきていますが、それでも女子の場合は、今でも、中学を卒業した後、紡績会社で二交替勤務をしながら、昼間定時制に通っています。

日本経済の高度成長期に『金の

卵』としてよくマスコミにでてきました。今も、私達が気づかないところで続いているのです。女

工実史は過去のことだと思っている人も多いと思いますが、今も形こそ違え、若年労働者の犠牲の上で繁栄があるのです。経営者は、不況という名目で、平気で青年達を配転してしまします。そのため定時制高校もなれないところへ通うことになりました。私達のまわりには、気づかないところで、多くの人達が弱い立場に置かれています。

(京都教区司祭)



私の基本方針への

取り組み

藤井 実

日本司教団による「日本の教会の基本方針」は、いま日本中の教会で話題の中心となっています。文書の表現や内容が大ざっぱで具体性に欠けるといふ批判もありますが、日本の教会全体の方針である以上無視してしまうのではなく、むしろ教区ビジョンを造り出した私たちはその経験を活かし、宣教とは何か、地域社会が求めているものは何かを、司祭、修道者、

信徒の各層で話し合う場を設けて追求しながら、この方針を補い、深めていかなければならないと思います。このような重大な問題は、教会の中の特定の専門家だけに任せるのではなく、しかも机上の理論から始まるのではなく、一人一人の置かれた現場での貴重な実践と経験の積み重ねによって具体的な取り組みを見出すことから始め、互いの成長のために現場の答えを司教団に返していくべきではないかと考えます。

(久居教会)

恵みの輪は静かに

玉手幸子

今年のご復活祭に、幾人かの生徒が洗礼の恵みにあずかった。そして、その恵みの輪は静かに、その友へと広がっている。友の真剣な祈りの姿に、心を動かされた生徒、また頭でキリスト教を理解すれば十分と思っただけで、友が少しづつ変えられていく姿をみて、自分もキリストにつながりたいと受洗の望みを打ち明けてくれた生徒もいる。まだキリストの食卓を

(宮津教会)

キリストのうちに新しくなろう

夏休みの主な青少年活動

- ▲みえ▼
 - 8月16日～17日 青年のつどい
 - 8月22日～24日 高校生エンカウンター
- ▲なら▼
 - 7月28日～31日 奈良カトリックおもちゃラ イブラリー夏期キャンプ

- ▲しが▼
 - 8月16日～18日 第10回 滋賀県青少年錬成会
- ▲きょうと▼
 - 8月5日～7日 教区中学生広島巡礼
 - 8月12日～16日 高校生会ワークキャンプ (長島愛生園)
 - 7月26日～28日 丹後合同青年会夏の合宿

教会活動を

通して

青年たちは

僕たちに任されて

佐竹光彦

奈良県下の8教会にはそれぞれ青年会があり、それぞれ独自の活動をしています。しかしそれだけでなく、青年は県下の2大行事である右近祭とウオーカソンで大きな役割を担っています。

まず右近祭ですが、これは高山

右近の列福をねがって、右近生誕の地である榛原町で5月5日に行なわれる子供祭です。そこで行なわれる運動会を青年が担当しています。

つぎにウオーカソンでは、青年に企画のすべてが任されています。奈良県でのウオーカソンは昨年引き続き3回目ですけれど、少しずつですが根づき始めています。

また奈良県の場合、青年にひとつの役割が完全に任せられていることを上げなければなりません。これからも信徒の方々の信頼を裏切らぬように頑張りたいと思います。そしてさらに、青年独自の活動も削って行きたいと思っています。(富雄)

再現/最後の晩餐

小幡利夫

網野教会において、中央協より岩橋淳一神父を招いて、第5回丹後夏の合宿を行いました。

『再現/最後の晩餐』のテーマを掲げて、ミサの原点の最後の晩餐について勉強をし、合宿の中で神様に捧げたいものを探し、自らでパンを焼き、参加者全員の手造りのミサを捧げました。

牧場で牛と遊んだり、海で大騒ぎしたり、楽しい中に皆、何かを見つけていました。

ぎっしりのハードスケジュールにもかかわらず、疲れた様子もなく、皆がキラリと輝いた素晴らしい合宿でした。(丹後大宮)

夏期学校を手伝って

黒澤牧子

この夏休みにも恒例の夏期学校が行われ、その手伝いに参加させて頂いていただきました。小学生対象で、テーマは「祈り」です。

毎週一回の日曜学校に通っている子供にとって、この宿泊行事は大勢の人との出会いがあり、いろんな体験を通して心が洗われる貴

重な一時です。しかたなくお手伝いに行った私ですが子供達と同様目が開かれる思いをしました。一つは祈りについて自分で勉強するきっかけとなったこと。一つは信徒一人一人が自分の出来るところで協力していること。もう一つは子供達のいい顔を見たことなどでした。

進んで仕事をすることによって教会のメンバーの自覚が高まり、宣教共同体の活力が湧くことを痛感させられました。(宇治)

仲間づくり

駒井昌代

私は、滋賀県青年会の行事や、合宿に大抵参加しています。同年代の信者の若者と話をすることは、私の人生にとってもプラスになっています。多くの人達がこの青年会に参加し、活動が活発になるように、願っています。

しかし、私の教会は青年会の活動がいつの間にかなくなり、県に参加するものも少なくなってきました。私は、青年をまとめ、リードしていくリーダーに適任する人がはつきりしなくなったからだと思います。少しでも良い方向に改善していきたいです。(大津)

第七回ウォーカーソン

みんなであ歩いて!

広げよう愛の交流

京都地区では第七回を迎える事になったウォーカーソンを、今年はタイ・ウボン教区バン・ブンマイとバン・ノンルン地域の子供達のためにいきます。

テレビや新聞等マスコミが、アフリカの惨状を生々しく伝えていたため、私達の目はいよいよアフリカに向けられているが、より近くのアジアの人々の苦しみが報道されなくなると殆んどもう問題がなくなった様に錯覚してしまいそうになります。

世界の山積する悲惨さの中で、忘れられそうな人々の苦しみに目を向ける事も必要ではなからうか。

どうか、出来るだけ多くのおみなさんの御協力をお願いしたい。

協力と言う字は三つの力が心で支えられている様に見える。参加者、スポンサー、協力者。更に、参加者、難民の方々そのどちらにも生きていられるキリスト。そこにかような愛の交流。どうかこの交流の輪が大きく、広く、深くひろがります様に。

この歩みがキリストから、キリストへ、キリストと共なる皆の歩みとなる様、祈っています。

ウボンの人々は……

暑期、連日42度の高温。灌漑設備がない。米も野菜も作れない。米は雨期に一回だけ収穫できる。子供達は昼食をとれないのが普通。血色の悪い身体の子、多くのやせた子供たち……。

村では教育も十分うけることができない。ウボンの人々は、一日生きることで精一杯です。



きようと〈教区〉しが〈教区〉なら〈教区〉みえ

創立三十周年

記念ミサと行事

宇治教会

「日本廿六聖人」に捧げられた宇治教会は、創立三十周年を迎え、去る七月十四日、盛大な記念ミサを行いました。

御存じの通り、宇治は藤原氏の別荘「平等院」を始め、黄檗山万福寺など名所古刹の多い古い歴史のまちです。そして日本で始めて栽培された茶は宇治茶として、また、宇治川は風光明媚な河川として共に全国に名を知られております。教会は、その宇治川にかかる日本最古の「宇治橋」上流、右岸約百米のやや高台に町を見下ろすように建っております。

記念ミサは、たまたま日本に立ち寄られていたメリノール会総長ポツテラ神父及び同会日本管区長デユマス神父をお迎えして、田中健一司教司式のもと、当教会初代主任神父エグルストン神父、本教会最長在任のウォルケン神父、宇治地区出身の松本(秀)・松浦両神父、及び西村現主任神父合同の荘厳ミサが取

り行なわれました。

なお、記念事業として、聖堂内部等の改装、記念文集を発行する等、信者が一丸となって事業の推進に協力し、創立三十周年にふさわしい行事をすすめることが出来ました。今後、なお一層家庭的な交わりを深め、宇治教会発展の誓いを新たにいたしました。(黒澤弘和)

第3回聖母行列

報恩寺教会

聖母被昇天の前夜8月14日午後6時から、報恩寺教会では、第3回聖母行列を実施。近隣教会の司祭、シスター、信徒、100余名の参加があり、地区内約1キロを巡行。小さき花幼稚園園庭でキャンドルミサを捧げて閉幕した。(野田吉夫)



聖書クイズ

数あてクイズ

新約系編



聖書をよく読んでね

□内に数字を入れてください。

☆答え ハガキでお送り下さい。正解者の中から5名の方に記念品をプレゼントいたします。住所、名前、電話、年齢、教会をかいいて10月末日までに「編集部」宛にお送り下さい。解答は12月号に掲載
〒606 京都市左京区仁王門通り新高倉東入ル
京都カトリック教理センター

- ① キリストは12使徒の他に□人の弟子たちを派遣された。(ルカ10)
- ② キリストがパンの増加の奇跡をされた話は二度出て来るが、それぞれ、□つのパンをおよそ5千人が、また□つのパンをおよそ4千人が満された。(マルコ6、8)
- ③ 羽のすずめは1アサリオンで売られている。(マタイ10)
- ④ 天の玉座のまわりには□の座があった。(黙4)
- ⑤ 刻印を押された者の数は□人であった。(黙7)
- ⑥ ノアの箱舟に入ってわずか□人の人が救われた。(Iペトロ3)
- ⑦ □の垂れ幕のうしろに幕屋があり、至聖所と呼ばれた。(ヘブル9)
- ⑧ アブラハムはメルセデクに□分の1をささげた。(ヘブル7)
- ⑨ 12使徒は評判の良い□人の弟子を選んで配給の仕事を任せた。(使6)
- ⑩ 聖霊降臨の日□人ほどのものが仲間に加えられた。(使2)

ばら種

短歌



松の葉の一針ごとに透き光る やわ日残して台風一過
夏過ぎてバラまた咲きぬ小振りなる 葉枝の先にはほの赤き笑み
鳴く虫に瑠璃の調べを聞き初めて その名は知らず秋に親しむ
洋楽がわかるでもなしキリギリス パロックの音にとつおいつ鳴く
十字架を白木と紛う切なさよ ホロコーストの黄泉路踏み敢えず
賢之助 (カトリック新聞)

ミサに楽しくあずかろう!!

教会はキリストの体ですから、その中でいろいろな役割をはたす器管(人)があり、それらが互いに助け合い、補い合ってはじめて一つの体の完全な姿となります。典礼の中でもそれが表わされるのが望ましいので、奉仕役の人(司式者、侍者、奉仕者)もそれぞれの祭服を着て自分の役割を表わします。司式司祭の伝統的な祭服は、アルパとストラとプラネタです。



祭服

ストラは役割を表わすもので、司祭は首のまわりから前へ、助祭は左肩から右脇へななめに着けます。プラネタはいわゆる祭服と呼ばれるものです。ゴシック式、ロマン式とかいろいろの形があります。ストラとプラネタはいろいろの色があつて、その典礼の意味を表わします。白は信仰と喜びの祝いを示し、復活節や降誕節、マリアの祝日などに、紫は回心の表現として四旬節、待降節などに、赤は血、苦しみ、聖霊降臨、殉教者の日に、緑は年間の季節に、黒は死者のために用いられるのが普通です。(三)

お知らせ



教区スケジュール

10月

- 14、18日 教区付司祭黙想会
- 20日(日)東舞鶴教会30周年ミサ
- 23日 教区内男女管区長会
- 24日 教区司祭評定例会議
- 27日(日)九条教会30周年ミサ

11月

- 4日(祝)京都ウオーカソン
- 6日 南信協婦人部追悼ミサ
- 10日 亀岡堅信ミサ。彦根50周年ミサ

婦天

レクイエムエテルナム

(永遠の安らぎを)

ロバート・ヒュース神父(61)

9月2日 午前零時10分頃

田辺教会主任(八幡・精華)

一九五一年六月除階、同年来日。一年間東京で勉強。その後京都に來られ、現在まで教区民のために働いて下さいました。

▼学習会御案内

「活力ある小教区共同体をつくろう」

テーマ 壮年層・青年層の相互理解のため

講師 広岡洋子先生(カウンセラー)

日時 10月13日(日) PM2時

場所 京都カトリック会館6F

「日本の教会の基本方針と優先課題」

講師 村上透磨神父

日時 11月10日(日) PM2時

場所 信愛幼稚園ホール(河原町)

主催 京都府南部カトリック信徒協議会

▼京都南部 結婚互助会御案内

結婚を希望される方の相談日を左記の日時に行っていますのでお越しください。

日時 毎月第一日曜日 PM130~230

場所 京都カトリック会館6階

▼日本二十六聖人 「長崎への道」巡礼

◇第23回巡礼

日時 11月3日

集合 徳山駅中央出口AM10時7分(15分前)

★信者・未信者を問わず参加歓迎

詳細は京都地区は聖母学院三牧まで

Tel 0720(31)1381

聖書週間

○書道作品展示

会期 11月6日(水)~16日(土)

○聖書朗読コンテスト

11月10日(日) AM10時~12時

メキシコの震災について

在京都教区グワタルベ会消息

グワタルベ会(メキシコ)からの第一報(ロスアンゼルス経由)

◇グワタルベ宣教会総本部

本部ビル3階以上が崩壊。

◇総長は無事。役員1名死亡。会員1名けが。

◇京都教区グワタルベ会員消息

・バルデス師(亀岡)家族無事

・ロベス師(園部)家族無事

・フェデリコ師(綾部)家族無事

◆救援について

現在は混乱の時期でもあり、落着き次第具体的な対策をたてたい

◆救援金、救援物資の取り扱い

ご協力下さいます方は、グワタルベ会の神父様にご連絡下さい。

又は、教区事務所へ 〒604京都市

中区河原町三条上ル 京都カトリック会館

Tel 075,211,3025



◆国際青年年も後二ヶ月。と言っても青年の成長ぶりには限界なし。今年も比、韓両国のワークキャンプで更に成長のきっかけを作った若者達。尊く、楽しかった経験を秋風にのせ考えている。(Y)

聖書クイズ

8月号 解答

一職業 a シモン (二) 魔術師

b ペトロ (三) 漁師

c テメトリオ (四) 銀細工職人

d パウロ (五) 天幕職人

e マタイ (六) 税吏

二名前 a ヨハネ (一) 雷の子

b シモン (二) ペトロ

c ユスト (三) バルサバ

d パウロ (四) サウロ

e ヨセフ (五) バルナバ

三関係 a ユダ (一) 銀30枚

b ユテコ (二) 居眠り

c ナタナエル (三) いちじくの木

d サマリヤの女 (四) 井戸

e 洗者ヨハネ (五) ヨルダン川

▼多数の御応答ありがとうございます。今回の正解者は2名でした。次の方に記念品をお送りします。▼佐藤百合子(大阪・門真)、齊木妙子(四日市) (敬称略)